夢大きく　思いゆたかに　考えふかく

# あかまつ

大仙市立太田南小学校
コラボ・スクール通信
第４７号
2015.1.26

コラボ・スクールは、「連携・協働」を進める学校を意味した、本校の造語です。

## インフルエンザ　じわり本校に！

市内の小・中学校で猛威を奮っているインフルエンザ！本校では、先週末までは風邪による欠席者はいたものの小康を保っていました。しかし、休み明けの今日、インフルエンザＡ型への感染により全校で６人の児童が欠席しました。本校にも徐々にインフルエンザが拡大しつつあり、決して油断できない状況です。

本校では、冬休み明けから徹底した「うがい・手洗い」や「換気」・「マスク着用」を励行し、インフルエンザへの感染を水際で阻止しようと予防に努めてきたところですが、今後、感染拡大防止に最大限の注意をはらっていきたいと思いますので、ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

ご家庭では、発熱・風邪の兆候や類似の症状がある場合には、速やかに医療機関を受診するようお願いいたします。（早期治療が、感染拡大防止の最大のカギです！）また、うがい・手洗いの励行とともに、十分な睡眠(休養)や栄養補給も含めて、お子さんの体調管理をよろしくお願いいたします。

なお、受診した医療機関名や簡易検査を受けた場合の結果は、速やかに学校にご報告くださるようお願いいたします。

また、インフルエンザは、土日をはさんだ月曜日に急激に増える傾向がありますので、休日の外出については人混みを避けたりマスクを着用させたりするなど、引き続き特段のご配慮をお願いいたします。

うがいで徹底予防！

## 南っ子グループで　音読集会！

「あかまつ１３号」でもお知らせしたとおり、本校では今年度、「公の場での意見表出」の課題解決を目指して、「発表集会」を月１回くらいのペースで開き、子どもたちが全校の前で詩や文学作品の音読・暗唱を行う取組を行っています。

１月の発表集会は２３日に行われましたが、今回は学年ごとの発表ではなく、初めて全校縦て割りの「南っ子グループ」で詩の音読を行いました。

子どもたちは「心に太陽を持て」「かわってあげよ」「せかいじゅうの海が」の３つの詩から好きな詩を選び、冬休みが明けてから南っ子グループごとに「あかまつタイム」の時間を利用して音読・暗唱の練習を続けてきました。

２３日は、その練習成果を披露する発表集会本番でした。子どもたちは、グループごとに強弱や抑揚をつけたり、身振り手振りを交えたり、学年によって読むところを変えたりするなどの工夫をしながら、全校の子どもたちの前でも臆することなく、はっきりした声で堂々と詩の音読を行いました。

「公の中で自分の意見や考えを述べる」ということは、本校の子どもたちに限らず、今の子どもたちが（子どもに限らず、広く青少年や大人も）苦手としていることです。私は、以前から本校の子どもたちは、素直で心優しい子どもが多い反面、どちらかというとシャイな子が多く、大勢の人の前に立つと「恥ずかしさ」が先に立ち、自分の声をしっかり発することができない、と感じていました。このことは、本校の子どもの大きな弱点でもありました。

しかし、２３日の発表会を見る限り、その弱点は大きく改善されたことが分かりました。恥ずかしさのためにうつむいたり、きょろきょろしたりという姿は、ほとんど見られませんでした。

本校では、授業の中ではもちろん、前述のような取組も続けながら、公の中でもしっかり自分の声(意見)を発することができる子どもを育てていきたいと考えています。

そして、本校では、まもなくやってくる卒業式での「将来の夢の発表」を、本校における「公の中での意見表出」の集大成としてつなげていく考えです。